

【ステップ1：土砂災害と洪水害】

説明

どしゃさいがい こうずいがい 土砂災害と洪水害

おもに大雨によって、大量の土や岩が勢いよく崩れ落ちる災害が土砂災害で、川から水があふれでて建物や道路などが水浸しになる災害が洪水害です。土砂災害や洪水害の被害にまきこまれると命を落とす危険があります。



「平成27年9月関東・東北豪雨」では、宮城県内でも大きな被害が発生しました。



仙台市太白区羽黒台の土砂災害
(仙台市消防局提供)



大崎市古川地区の洪水害
(仙台市消防局提供)

【ステップ1:土砂災害と洪水害】

1

どしゃさいがい

土砂災害とは？

こうずいがい

洪水害とは？

下の文章は、土砂災害と洪水害について説明したものです。()の中に入る適切な語をア～ケから選んでください。1つの()の中に、2つ以上の言葉が入る場合もあります。

土砂災害は、おもに大雨によって、大量の土や岩が勢いよく崩れ落ちる災害です。()から小石が落ちてきたり、わき水や小川が()などの現象は、土砂災害の前兆現象です。すぐに安全なところまで避難しましょう。

洪水害は、川から水があふれでて建物や道路などが水浸しになる災害です。川の()が堤防の高さをこえたり、川の激しい流れによって堤防が破壊されることで、洪水害となります。

- ア. 空 イ. 斜面やがけ ウ. 海 エ. 川
- オ. にごる カ. へる(水の量がへる)
- キ. 橋 ク. 長さ ケ. 水位(水面の高さ)

【ステップ2：危険がある場所を知ろう】

説明

危険がひそんでいる場所を知ろう

どしゃさいがい き けん
土砂災害や洪水害にはおこりやすい場所があって、ハザードマップ(市町村が公表)でしらべることができます。

ハザードマップで、家の近所や通学路などに土砂災害や洪水害の危険がないか調べてみましょう。大雨の降っているときなどは危険がある場所へ近づかないようにしましょう。もし、そのような場所に住んでいる場合には、市町村からの避難の情報(避難勧告や避難指示(緊急)など)にしたがうとともに、早めの避難を心がけましょう。また、どのようなルートで避難するのが安全か、事前に調べておきましょう。



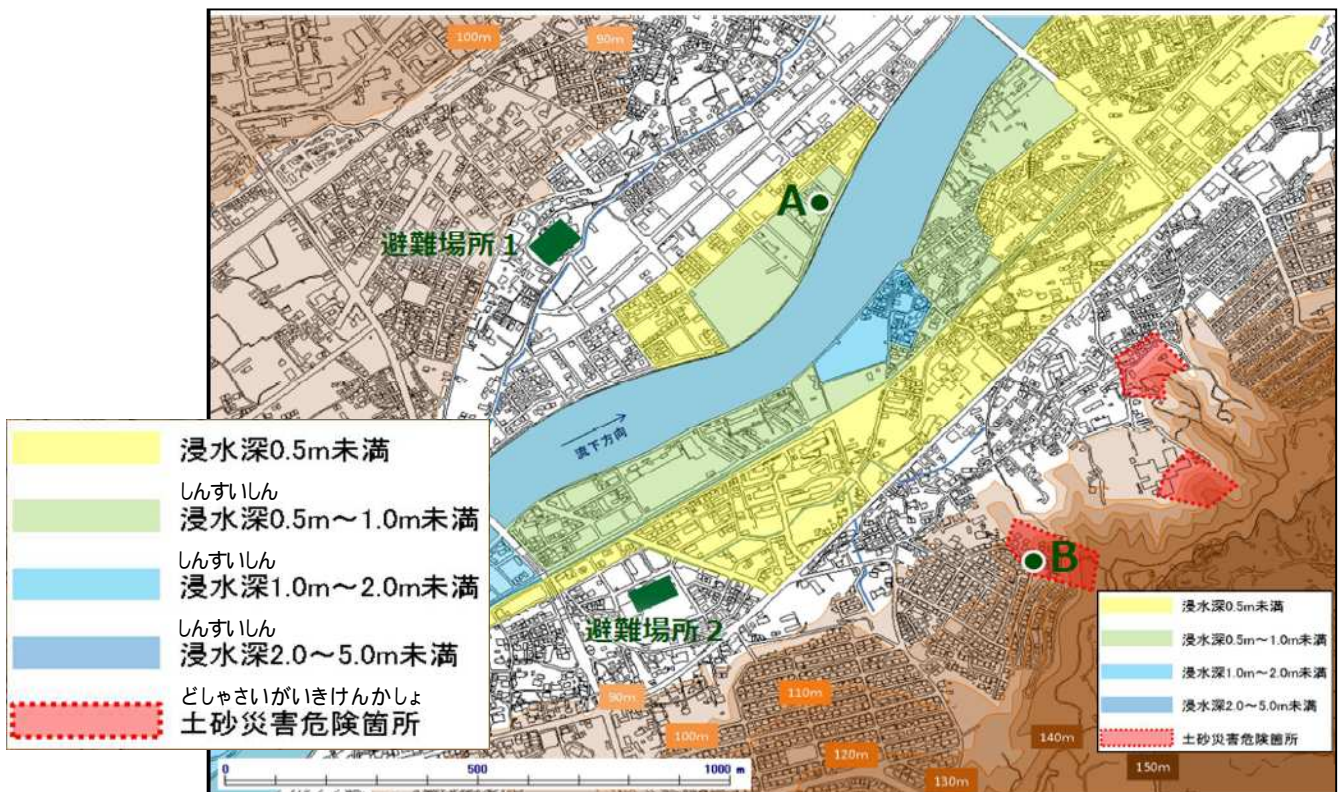
【土砂災害や洪水害の危険がある場所に住んでいる場合】
避難場所と避難ルートの確認。非常用持ち出し品の確認。
大雨となったら、避難勧告や避難指示(緊急)等にしたがう。

【ステップ2：危険な場所を知ろう】

2

どしゃさいがい こうずいがい きけん 土砂災害や洪水害の危険な場所を知ろう

下の図はハザードマップの例です。浸水（洪水害）の危険がある所に住んでいるAさん、土砂災害の危険がある所に住んでいるBさんは、大雨が予想されるときに避難する必要があるでしょうか。また、避難する場合は、どのようなルートで避難するか地図に書きこんでみましょう。
Aさんの避難（必要・不必要） Bさんの避難（必要・不必要）



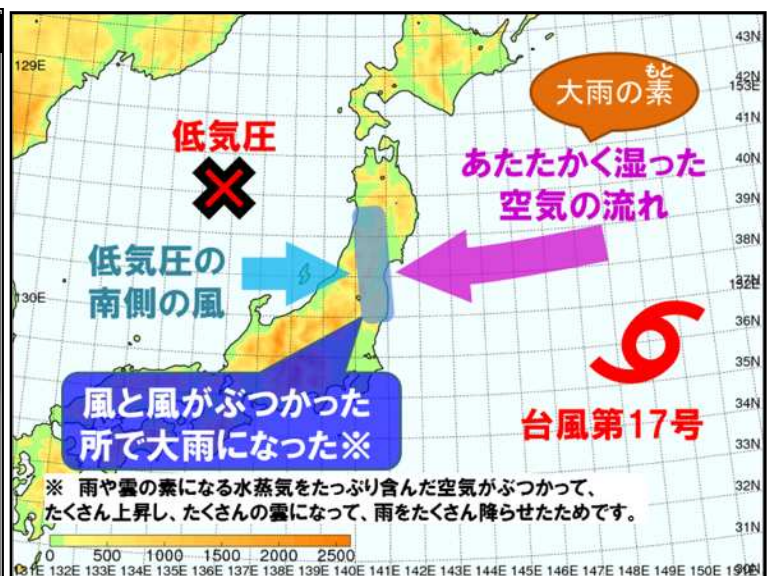
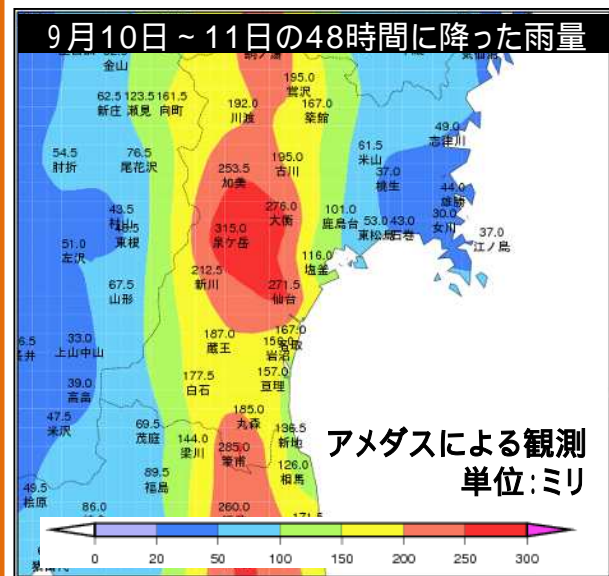
自分の住んでいる場所のハザードマップを使って、同じようにやってみましょう。

平成27年9月関東・東北豪雨^{ごうう}

2015年9月9日から11日にかけて、日本海にある低気圧に向かってふく湿った風や、台風第17号から流れ込む湿った風の^{えいきょう}影響で、関東地方と東北地方では記録的な大雨となりました。これを平成27年9月関東・東北豪雨^{ごうう}と
いいます。

宮城県では、主に9月10日から11日にかけて大雨が降り(左図)、各地で^{どしゃさいがい}土砂災害や^{こうずいがい}洪水害が発生しました。右図は、その中でも特に雨の強かった10日21時～11日03時ころの台風や低気圧の位置を示しています。あたたかく湿った^{しめ}空気()がぶつかって、たくさん^{じょうしゅう}上昇し、たくさんの雲になって、たくさんの雨を降らせました。

雨や雲の^{もと}素になる^{すいじょうき}水蒸気をたっぷり^{ふく}んでいきます。



平成27年9月関東・東北豪雨（被害写真）

平成27年9月関東・東北豪雨では、宮城県内の各地で被害が発生しました。ステップ1で掲載した他にも、当時の状況を示す写真を掲載します。これらの写真からも早めの避難が大切だと分かります。



栗原市築館地区(栗原市提供)



大崎市古川地区(大崎市提供)



大和町落合舞野地区(仙台市消防局提供)



仙台市泉区(仙台市消防局提供)



蔵王町小妻坂疣岩地区(蔵王町提供)



丸森町大張地区(丸森町提供)